

新宮山彦ぐるーぶ第1934回

持経宿にて熊野修験奥駈行の湯茶接待と

前鬼山小仲坊裏の倒伐材の整理

◇実施日：平成29年05月28日(日) 快晴

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、橋本 梓、児嶋道夫、生熊敏男、

大江加予子、畑林清子、加子坂昌彦。

梶野照雄、山川治雄(以上、前鬼山小仲坊)。 10名。

熊野修験奥駈修行(27日～28日；玉置神社～前鬼)が行われ27日に行仙宿に宿泊されたが、熊野修験サポートの人達(山上皓一郎・松本 良さん等)により賄われた。

翌日に恒例の当ぐるーぶによる持経宿にて湯茶の接待のため、新宮5時半に出発し、池原スポーツ公園駐車場に6時半着。

此処で熊野修験に参加される5名と合流して、持経宿へ同行する事になっていたが、参加予定者に連絡すると欠席と判り、事前欠席の連絡が急遽欠席等で、当方への連絡洩れになった様だ。

熊野修験サポートの田中さんの車に参加者4名が乗り、持経宿で体調不良者・荷物等を小仲坊に回送する指示を承って来られた様だ。

前日、モノレール運転担当でサポートされた生熊さんから、サングラス履きや山歩き初めての人が参加されていて、行仙宿19時着となり、この人達4名がリタイヤしたそうです。

沖崎氏からパンクすることが多いので、スペアタイヤ積んでいるかと聞かれた事もあり、田中車は慎重なスロー運転もあり持経宿に7時半前に到着。

早速、不動堂に幟を立て、千年檜祠へは初参加の加子坂氏の案内方々児嶋氏が、幟2本とシキミを採り供えるように頼む。

大江、畑林さんは、卓上コンロ2台で8ℓやかんにお茶、5ℓやかに紅茶を作るお湯を沸かされる。

川島・沖崎は、三井寺宿泊(26日)時に使った鍋を備品倉庫に保管する。又、行者堂横のレンガを堂裏に、材は床下に移動した。次回、砂・バラスは、移動させ不動堂周りをすっきりさせたい。



池原公園Pで合流 お茶・紅茶用の湯沸かす 幟の立った不動堂 橋本氏と熊野修験に合流する4名は、熊野修験一行(20名)の迎えと合流の為、千年檜へと向われる。

熊野修験(高木亮英)からの御菓子と西瓜を切り分け、お盆へならべ、紅茶、やかんとを共に小屋前のベンチ前の野外テーブルに置き準備完了。

千年檜での勤行の法螺の音が聞こえて来る、程なく熊野修験一行(24名)が9時半に不動堂に到着され勤行される。



不動堂に到着

不動堂で勤行



不動堂で勤行



持経宿小屋前で紅茶・西瓜等で休憩



勤行後、持経宿前の野外ベンチ・テーブル上に置いた西瓜、紅茶、お茶の接待で休憩して頂き、各自1個の甘夏柑も差入れする。出立の合図があり隊列を整えて、阿須伽利岳の急な登へと9時55分に出立され、「満行を!」「結願を」と見送る。



持経宿を出立!



湯茶接待への参加者



火曜日に沖崎さん達が、平治宿へ点検巡回をされたので、昨年同様、前鬼山小仲坊での普請(屋敷裏の倒伐杉の枝等の切除び薪作り)をする事になり、前鬼へ車で移動。途中、中型バス2台と遭遇し、広い路側帯にバックして交わす。

バスの方達は、小仲坊で宿泊され、不動滝等を廻られ大津市へ戻られる三井寺奥駆行一行が乗っているバスであった。小仲坊に11時50分に到着。昨夜、行仙宿で夕食、朝食・弁当の賄をされた、山上さん他の熊野修験サポートの人達約10名が少し前に到着したとのこと。昼食をしていると梶野氏、山川氏が作業応援に来て下さる。



宿坊前で昼食



裏山の倒伐材の杉大木の枝切除と丸太切断



行仙宿よりチェンソー2台を持ち込み、太い枝や杉丸太を切除するが、2台共チェンソーオイルが給油されていない事がわかる。大チェンソーは、チェーンにオイルを塗布しながら、児嶋・梶野氏で太い杉丸太を切断。川島は小チェンソーで太い枝を薪サイズに小切り、沖崎氏は、鋸で枝を切除し、他の方と女性陣は薪などを集積する。山川さんは、チェンソー2台を持参され、いずれも切れが良く作業がはかどる、

持経宿接待で余ったお茶・紅茶・西瓜で小休止後、太い杉丸太の上にある二股の杉が、下から見たとき景觀を損ねているため、出っ張った枝を切りロープで引っ張り平地に落す。

太い丸太を中間で切断した時、チェンソーの刃が挟まる。ジャッキで支えて、直ぐ横を別チェンソーで切断して解消する。この杉大木の向きを変えるため、ロープを掛けて6人で引っ張ったと

ころロープが切れてみんな転げる。再度、やり直し出っ張った部分が見えなくなつた。又、杉大木2本の小屋に向つて右側の突き出た太い枝を生熊、山川氏によって、チェーンソーで切り落とした時点の15時前に作業を終了した。



大木杉丸太を小切る



集積薪材横で小休止



チェーンソー刃挟まる



向き変えにロープを引く



本日の作業者

お堂前からは、突き出た枝も見えなくなり、すっきりした。五鬼助さんの奥さん差し入れの冷たい飲み物で喉を潤し、15時半前に帰路へ。前鬼口で装束替えの高木亮英師とすれ違ふ。尚、熊野修験サポートの方達は、奥駈行一行が下山される(19時下山予定)迄待機される。

(記 川島)